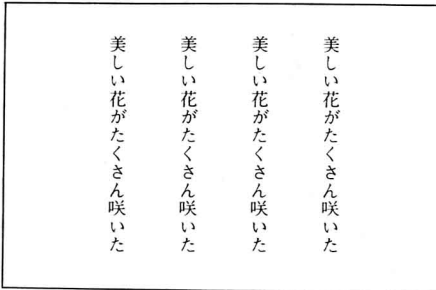
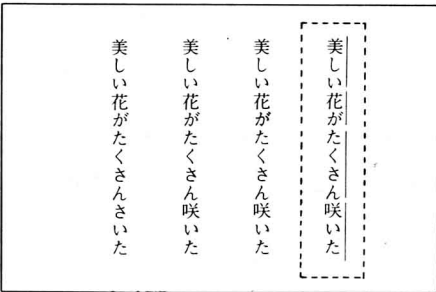


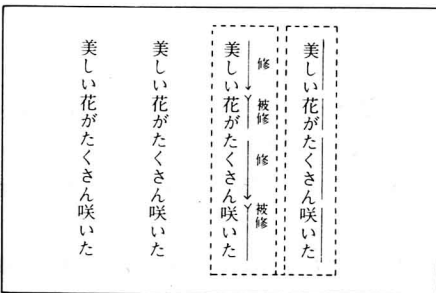
TP 3 (映像 5)



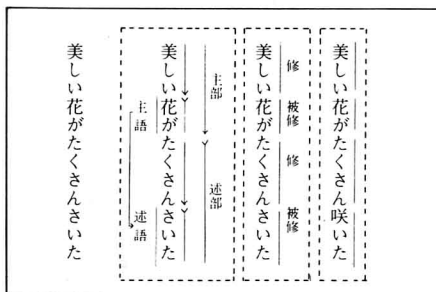
TP 3 + TP 3-2 (映像 6)



TP 3 + TP 3-3 (映像 7)



TP 3 + TP 3-4 (映像 8)



T. A君, B君, C君とちがう人 D君
(映像 4)

T. それでは、みんなの考えを確かめましょう。
そして、確かめながら文節相互の関係を明らかにしていきましょう。
TP. 3 を提示する。

T. TP 3 の文を文節ごとに分けるとどうなりますか。

P₁ ……………。

P₂ ……………。

P₃ ……………。

TP 3-2 を重ねる (映像 6)

T. 「美しい」はどのことばにかかりますか。また文節と文節はどんな関係になりますか。

P. 「たくさん」は「咲いた」にかかる修飾語です。「咲いた」は「たくさん」の被修飾語です。

TP 3-3 を重ねる。 (映像 7)

T. 「美しい」と「花が」とは修飾語と被修飾語の関係になっているから「美しい花が」と一つのまとまりになり、同じように「たくさん」と「咲いた」は「たくさん咲いた」と一つのまとまりと考えることができますね。

このように、二つ以上の文節が一つになった文節を連文節と言います。

それでは、この文の場合の連文節相互の関係